

UC-100f-J2

- 920MHz帯特定小電力機器
利用場所が制限されず近距離通信が可能
- 小型（カードサイズ筐体） / USBバスパワー給電
- 各種HOST機器で動作可能
Windows、Android、Raspberry Pi、PLC等
- UHF帯タグを単数/少数取り扱う用途向き



製品仕様

製品名	UC-100f-J2(USB) (標準品)	UC-100f-J2(USB-H) (ハンディタイプ)	UC-100f-J2(RS232) (RS-232Cオプション品)
機器種別	fファミリ		
対応タグ通信規格	ISO18000-63/ EPC C1G2		
周波数	916.8~923.2 MHz (18チャンネル)		
RF送信出力※ ¹	100mW (0~20dBm 21段階で調整可能)		
チャンネル選択機能	チャンネル固定、グループチャンネル選択		
アンテナ	内蔵 (円偏波)		
上位インターフェース	USB(コネクタ : miniB)	USB(ケーブル長90cm)	RS-232C(D-SUB9ピン)
電源	USBバスパワー※ ¹	USBバスパワー※ ¹	ACアダプタまたは D-SUB9ピンから供給
表示	LED x2(Power、Tx)		
外形寸法	95 x 58 x 18mm (突起、ケーブル除く)		
質量	90g	130g	100g
対応OS (USBドライバ※ ²)	Microsoft® Windows® 8 / 8.1 / 10		-
対応規格	ARIB STD-T107, RoHS		
標準提供形態	1式~	ご相談(受注生産)	ご相談(受注生産)

※¹ USBバスパワーの駆動能力により送信出力が低下する場合があります。

※² その他の対応OSについては、FTDI社のホームページをご参照ください。

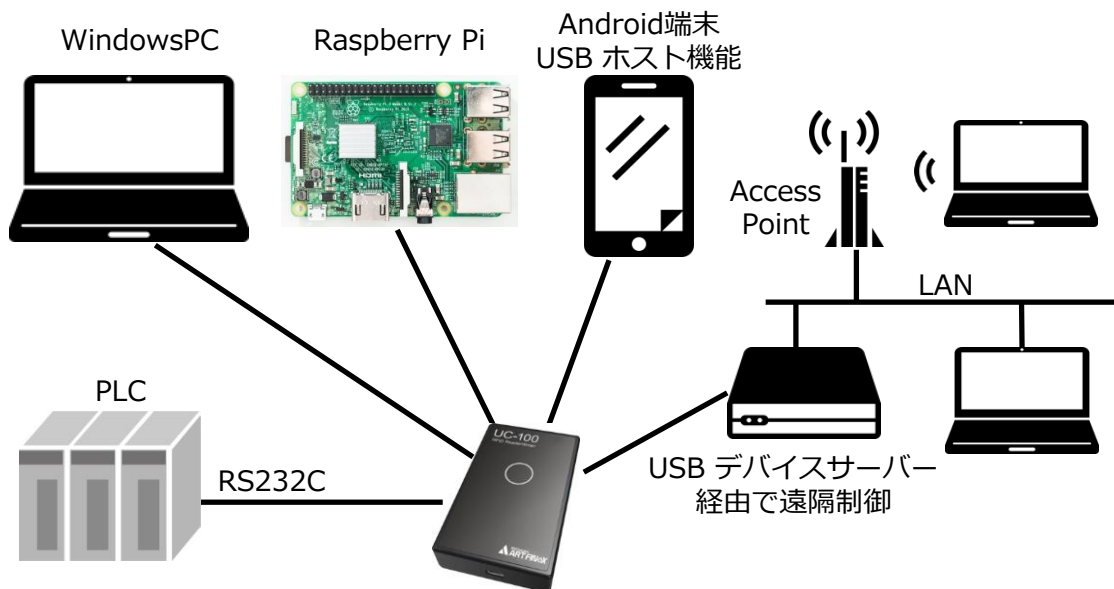
開発者支援キット

開発者支援キット(DK)は、機能検証とソフトウェア開発のためのRFID開発支援キットです。本体のほかに、サンプルアプリケーション、開発用ライブラリ(API)、コマンド仕様書、サンプルソースなどが同梱されております。サンプルアプリケーションは、UHFタグのエンコードが簡単に行え、メモリアクセスやリーダー・ライタの設定・機能が確認できます。また、検出したUHFタグのIDをキーボード入力に変換し、メモ帳などに簡単に記録できるキーボードシミュレートツールを用意しております。

製品名	UC-100f-J2(USB)-DK	UC-100f-J2(USB-H)-DK	UC-100f-J2(RS232)-DK
構成部品	本体、CD-ROM、サンプルタグ、セットアップガイド		
付属品	USBケーブル(A-miniB)	-	ACアダプタ※ ³
開示情報	API仕様、プロトコル仕様、サンプルソースコード (API利用)		
開発環境 (API使用时)	Microsoft® Visual Studio® .NET 2003以降 (Visual C++, Visual Basic .NET, Visual C# .NET) Microsoft® Visual Basic® 6.0 Microsoft® Windows® 8 / 8.1 / 10		

※³ RS-232Cケーブルは付属しません。

■ 各種HOST機器との接続例

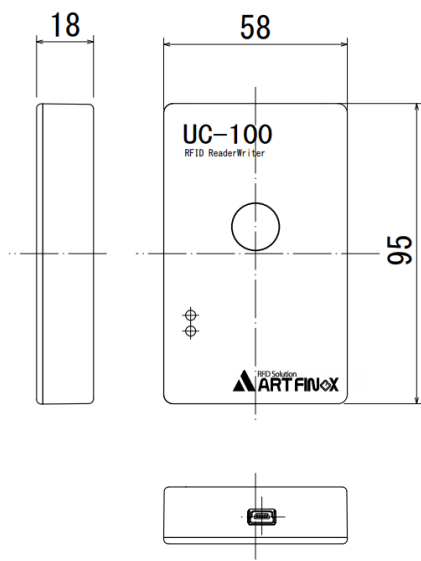


※Raspberry Pi は、Raspberry Pi 財団の商標です。

※Android は、Google LLC. の商標です。

※Windows は、米国Microsoft Corporation.の米国およびその他の国における登録商標です。

■ 製品外形図



(標準 : USB-I/F品)

■ オプション品

RS-232C I/Fオプション品 コネクタ : DSUB9(オス)
製品名 : UC-100f-J2(RS232)



番号	名称	機能
1	NC	
2	RxD	受信データ入力(RS232Cレベル)
3	TxD	送信データ出力(RS232Cレベル)
4	NC	
5	GND	GND
6	NC	
7	RTS	送信リクエスト(8ピンと短絡)
8	CTS	送信可(7ピンと短絡)
9	VCC	DC +5V入力 (DCジャックセンターピンと短絡)

※電源は、DCジャックとDSUB(9ピン)の**どちらか一方**のみから供給します

お問合せ先

E-mail :

info@artfinex.co.jp

RFID Solution
ARTFINEX
<https://artfinex.co.jp/>

株式会社アートファイネックス
RFID東京事業部

〒101-0047 東京都千代田区千代田1丁目7の4 晃永ビル 5F

株式会社アートファイネックスは、ソーバル株式会社からRFID事業を2015年3月31日付にて、譲受致しました。

仕様・外観・製品構成は、改良のため予告なく変更する場合があります。最新の情報につきましては、弊社のRFIDサービス・製品情報ウェブサイトでご確認ください。

本製品は電波を使用したRFID機器の読み取り・書き込み装置です。そのため使用する用途・場所によっては、医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品を運用する際は、総務省、(社)日本自動認識システム協会及び関係団体の定める運用ガイドラインをご確認の上、適切にお取扱ください。「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」総務省(報道資料)：平成28年11月

[Rev:109]